

雲仙岳

福岡管区気象台 火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんでした。平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴煙など表面現象の状況(図2)

噴煙は白色、ごく少量で高さは概ね50mと低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況(図2、図3)

火山性地震の回数は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図1、図4)

GPS連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

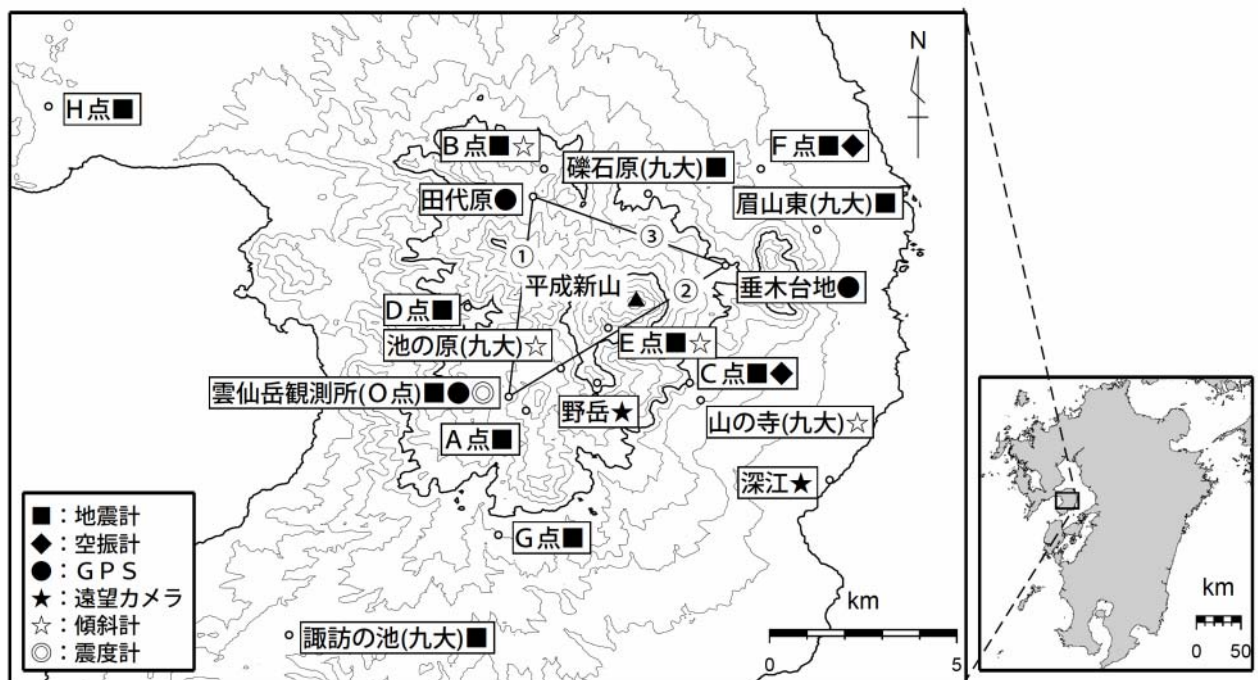


図1 雲仙岳 観測点配置図

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年1月分)は平成20年2月7日に公表予定です。

雲仙岳

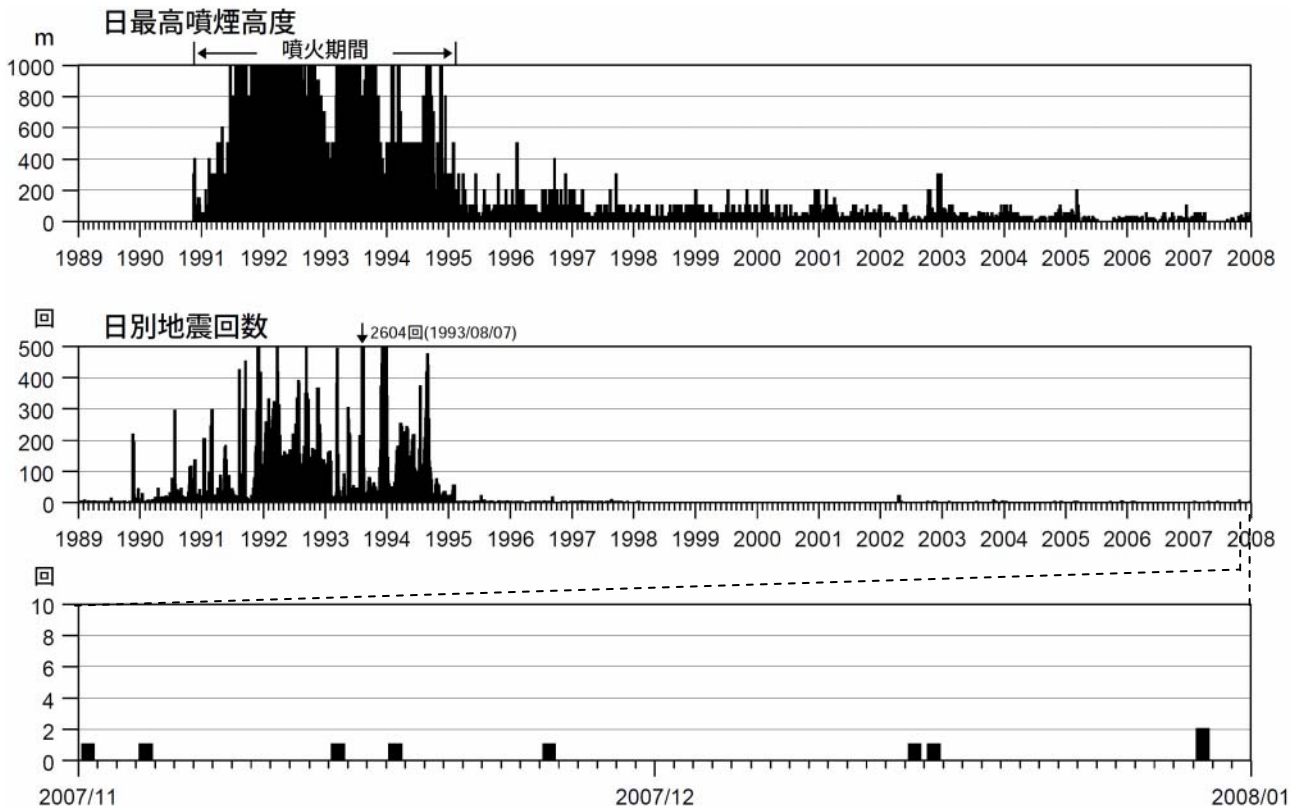


図2 雲仙岳 火山活動経過図(1989年1月~2007年12月)

噴煙の高さの最高は50mでした(11月:40m)。

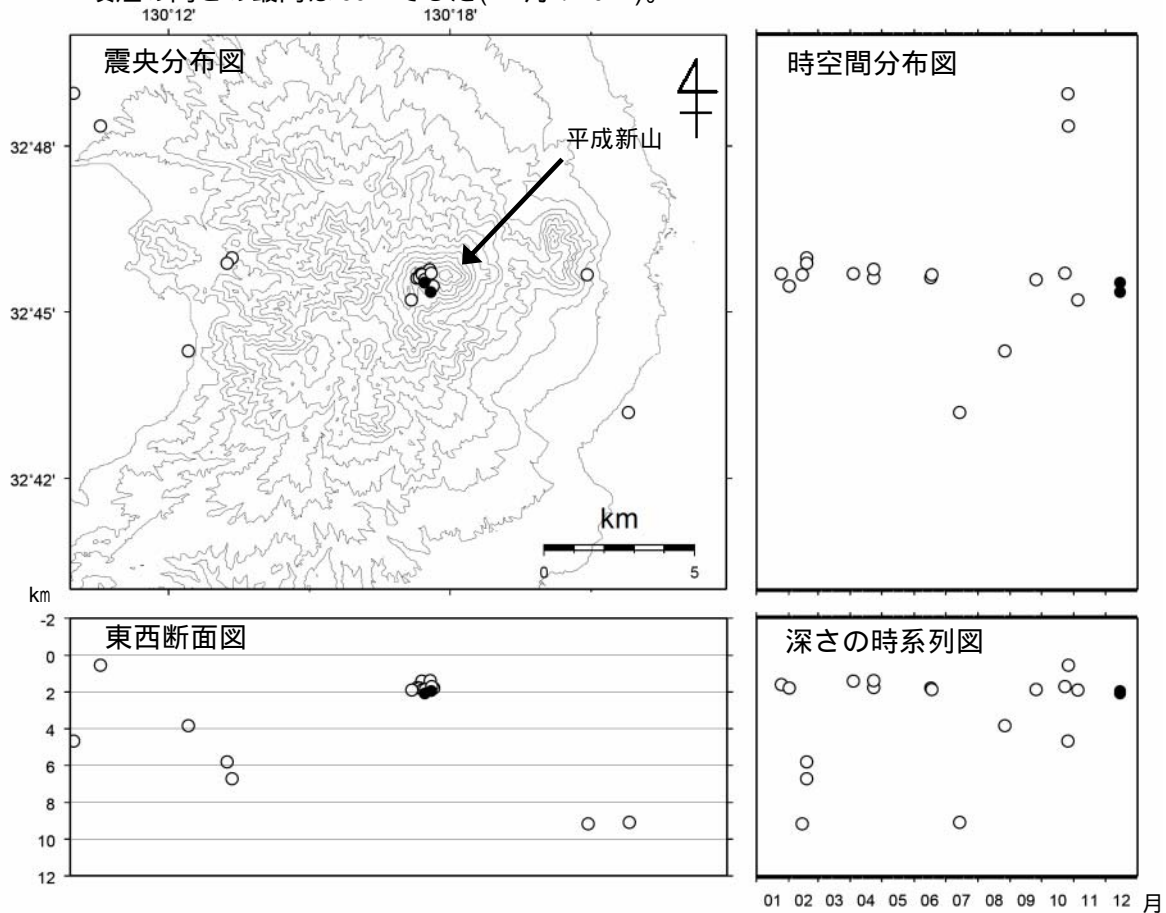


図3 雲仙岳 震源分布図(2007年1月~2007年12月)
火山性地震は平成新山付近に2個の震源が決まりました。

○: 2007/01/01 - 2007/11/30 N = 17
●: 2007/12/01 - 2007/12/31 N = 2

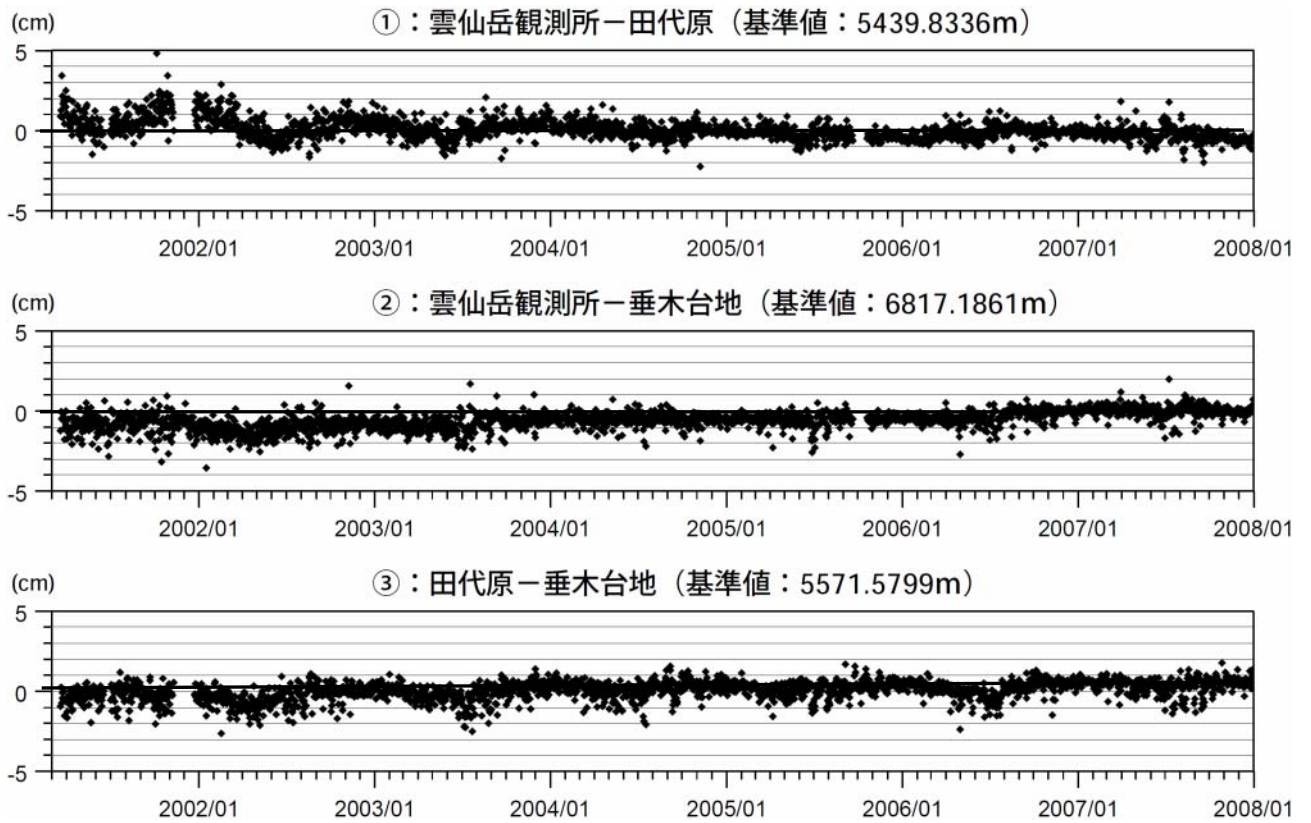


図4 雲仙岳 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月20日~2007年12月31日)
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。